

# 議会だより

56

のとちょう

2019. 5. 1

3月定例会議	2-5
3月定例会議一般質問	6-11
主な議会活動	12
常任委員会レポート	13
議案をチェック	14-15
まちかどインタビュー	
編集後記	16



平成から令和へ  
平和をつなぐ



天皇陛下御在位 30年  
記念植樹式

# 平成31年度当初予算

**一般会計予算額 178億6000万円**

前年度比 ▲1300万円 (▲0.1%)

※うち新統合庁舎及び総合支所整備に関する予算額 27億1158万円

**4特別会計予算額 67億8307万円**

前年度比 ▲1億6352万円 (▲2.4%)

**一般・特別会計  
予算総額 246億4307万円 (▲0.7%)**

水道事業会計 収益的収支 7億6212万円

資本的支出 10億7546万円

病院事業会計 収益的収支 24億2895万円

資本的支出 5億9075万円

## 平成31年度主要事業

### ①自然環境との絆を大切にしまちづくり

- ・天皇陛下御在位30年記念植樹 (30万円)

### ②誰もが住みよいと感じる地域が一体となったまちづくり

#### ●防災対策の強化

- ・町野川洪水ハザードマップ更新業務 (310万円)
- ・防災備蓄品の見直し (200万円)

#### ●小木地区都市再生整備計画事業 (4億7094万8千円)

- ・のと九十九湾観光交流センター (イカの駅) 外構工事・サイン整備
- ・地域交流センター整備 (小木地区町民研修センターの建て替え)

### ③地域の魅力を生かしたしごとづくり

#### ●スマート農業推進事業 (50万円) ※新規

- ・ICT (情報通信技術) を活用し、農家の技術や経験則を数値化。担い手への技術継承と生産管理の効率化を図る。

平成31年第2回能登町議会3月定例会議が開催され、議案47件が提出された。議案については、平成31年度当初予算7件、平成30年度補正予算10件、その他条例改正などの議案や人事案件に関する議案、また専決処分報告が1件あった。人事案件以外の議案は各常任委員会で審査し、全議案を可決とした。

最終日には議会提出議案としての2件の意見書が提出され可決とした。

12日には7人の議員が町政全般について一般質問を行った。

## ●鳥獣被害防止対策事業（2510万2千円）

- ・捕獲数の急増を受け、捕獲報奨金を前年比1700万円増の2100万円とする。

そのほか電気柵設置や檻購入等対策を強化。



急増するイノシシ

## ●観光情報発信事業（1261万1千円）

- ・H30に策定した観光マスタープランに基づき、観光情報発信を強化する。

観光PR動画制作、観光ポータルサイトのリニューアル等

## ●のと九十九湾観光交流センター（2921万1千円）

- ・のと九十九湾観光交流センター（イカの駅）開業に向けて、WEBサイト制作やマリンスポーツ関連備品整備、サイン改修等の準備を行う。



のと九十九湾観光交流センター（外観イメージ）

## ④健康で心に豊かさを持てる人づくり

### ●配食サービス運営事業（2000万円）

- ・65歳以上の1人暮らしや高齢者世帯の方で、買い物や調理が困難な方を対象に、栄養バランスのとれた食事の提供と安否確認を行う。

前年度比400万円（8,000食）の増を見込む。



配食サービス（イメージ）

### ●児童センター管理費

- ・こどもみらいセンター外壁改修（1389万円）

### ●子育て世代包括支援センター設置

- ・子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠・出産・子育て世代への切れ目のない支援を実施する。

## ⑤地域を通して共に学び、まちの未来を担う人づくり

### ●能登高等学校魅力化事業（5009万5千円）

- ・総務省地域力創造アドバイザー制度を活用し、魅力化事業の充実を図る。

引き続き給付型奨学金支援や国立大学入学一時金支援事業などの支援事業のほか、「まちなか鳳雛塾」の運営を強化（地域おこし協力隊を3名から5名に増員）



まちなか鳳雛塾

### ●アマメハギ保存継承事業（474万2千円）※新規

- ・ユネスコ世界無形文化遺産登録を受け、アマメハギの保存継承活動を推進するため秋吉公民館を改修。囲炉裏や映像上映可能な機器等の設置。

●三波公民館建設事業（3168万4千円）※新規

- ・老朽化している三波公民館の建て替えを行う。H31は旧公民館の解体と新公民館建設の実施設計。

⑥地域の絆を深め、住み続けたくなるまちづくり

●能登町創生総合戦略更新（572万3千円）

- ・H27に策定した第1期（2015～2019年）の効果検証を行い第2期の総合戦略を策定。

●合併15周年記念事業（220万8千円）

- ・合併15周年記念式典を新庁舎完成式典と合わせて挙行。

●集会施設空調設備設置補助事業（100万円）※新規

- ・空調設備未設置の集会施設について、設置経費の1/2（25万円上限）を補助。

●空家対策推進事業（954万4千円）

- ・管理者不明の特定空家について、略式代執行による解体を行う。

特定空家の解体補助事業の継続のほか、空家解体ローンの利子1/2を補助。

■その他ハード事業

●新統合庁舎整備事業（17億4252万6千円）

- ・新庁舎及び総合支所は、2020年1月開庁を予定。

●柳田総合支所整備事業（3億2707万1千円）

- ・現庁舎後方に整備。

●内浦総合支所整備事業（6億4197万9千円）

- ・松波公民館との複合施設として整備。

●有線放送整備事業（9億9815万8千円）

- ・柳田地区と内浦地区をHFCからFTTH（光ファイバー）に再整備し、4K8K放送への対応と超高速ブロードバンド環境を整備（能都地区はH23整備済）

●比那集会所整備事業（4337万4千円）

●セミナーハウス山びこ浴室棟増築実施設計（576万3千円）



新統合庁舎（外観イメージ）



柳田総合支所（外観イメージ）



内浦総合支所（外観イメージ）

## ■その他ソフト事業

### ●森林環境譲与税事業（1043万2千円）

・適正な管理がされていない森林の意向調査を行い、町に経営管理権が設定された森林の整備を行う。森林環境譲与税を財源とする。

### ●のと未来会議（79万4千円）H30～

・若者が集まり、能登町の未来について語り合う場を作る。学び、対話し、人材を育成しながら、プロジェクトを企画・実践する。

会議では、グラフィックファシリテーションによる対話の促進と見える化を実施。

### ●アスリート強化支援事業（50万円）H29～

・東京オリンピック・パラリンピックでの活躍が期待されるアスリートの支援。

### ●コンビニ収納開始

・税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、上下水道料について、コンビニ収納を実施。



## 能登町固定資産評価審査委員会委員の選任について

小坂 智（松波）

## 能登町公平委員会委員の選任について

角 弘子（鵜川）

## 能登町教育委員会委員の選任について

上結 謙一郎（宇出津）

## 【2月会議】 15日

平成31年2月15日に平成31年第1回能登町議会2月会議を開会し、請負契約の締結についての議案4件が提出され原案のとおり可決した。また専決処分の報告2件があった。



# いっぱん質問

## 3月定例会議の一般質問（12日）

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

### 問 鳥獣処理施設の設置について

#### 答 施設整備助成制度、前向きに検討



吉田 義法 議員

問

近年はイノシシの増加が著しく29年度の捕獲頭数が約200頭であったのに対し30年度は千頭を超えている。確実に生息数は増えている。町にはイノシシ捕獲に対してどの

ような助成制度があるか。捕獲したイノシシはできる限り食すことが望ましいと思われるが、個人では処理が困難なため鳥獣処理施設が必要だと考

える。奥能登地域有害鳥獣処理施設建設についての進捗状況は。町内の空き公共施設を処理施設として利用できるか。ま



捕獲されたイノシシ

た、新たに鳥獣処理を事業とする民間を助成できないか。

答 町長  
イノシシの捕獲報奨金制度があり31年度より一部改正し通年で1頭当たり成獣3万円、幼獣1万円とする。

奥能登各市町ではイノシシの処分方法の検討が喫緊の課題となっており処分場整備については各市町単体による整備と奥能登4市町の広域での整備が協議されている。町内の空き公共施設は一定の要件を満たすものならば処理施設として利用は可能であると考えますが、加工処理施設としては考えておらず民間の施設を活用することが良いと思う。また、民間で鳥獣加工処理施設を整備する場合は助成制度については今後前向きに検討したい。

### 問 一般行政職員の再任用について

#### 答 職員の知識と経験を有効活用する

問

公的年金支給開始年齢の引上げにより再任用希望職員が増えると考えられるが再任用の基準や職務内容、役職、給料はどのように決められているか。再任用希望者を役場関係以外の事業所へ斡旋することはあるのか。ある場合はどのような経緯で斡旋されるのか。また、

これまでの再任用職員に対して能力が十分に発揮できる人事であったと思われるか。

町には経験と知識を遺憾なく発揮できるような人事を望む。再任用職員の皆さんには正義感と使命感を持ち町民の皆様のために業務に励んでもらいたい。

答 町長

職員の再任用は条例に基づき勤務実績等により選考している。職務内容や役職は在職中の知識、経験が生かされる職務を基本とし行政職給料表等に従い職務の級、内容に応じた給料を支給している。当町では再任用希望者を役場関係以外の事業所に斡旋することはない。再任用職員の知識、経験の有効活用、若手職員の育成の2点を柱として職員全体のモチベーションの向上を図りながら適材適所の配置を行い、充実した住民サービスが提供できるよう努めている。



志幸 松栄 議員

問 平成31年度当初予算等について

答 継続施策を推進していきたい

問

当初予算を編成したなかで町長が政策の柱としている、防災・福祉・教育に関連した主要事業について、また当町の基幹産業である一次産業の振興対策について問う。

答 町長

防災では、全国各地でのたび重なる大規模災害を教訓とし、防災備品の見直しを図るほか、消防団員確保や自主防災組織育成事業などを継続して取り組んでいる。福祉では、配食サービス事業の充実や風しん予防接種の実施、また新たに子育て世代包括支援センターの設置等きめ細やかな対応ができる体制づくりにつとめ、さらに教育においては、空調設備設置工事を実施し、町内全小中学校普通教室への空調設備を完了させるほか、まちなか鳳雛塾の講師を増員し体制を強化したい。その他としては、地方創生や観光の振興などに所要の予算を確保している。

答 農林水産課長

一次産業の振興対策としては、能登町創生総合戦略に記載のとおり、能登の里山里海をいかに、人材の育成と安定した雇用ができる体制づくりの充実を図り、具体的には農林水産物の品質や付加価値を高めるとともに、商工業など各産業間の連携により町内での生産と加工、販売の一体化による6次産業化(※)、地域ブランドの促進を目指す。また水産業では宇出津港水産物鮮度保持施設と加工処理施設の活用など、一次産業の振興に全力で取り組んでいきたい。



宇出津港水産物鮮度保持施設・加工処理施設

※6次産業とは、農林漁業本来の1次産業だけでなく、2次産業(加工)・3次産業(販売)に取り込むことから、1次産業×2次産業×3次産業のかけ算(1×2×3=6)の6を意味しています。



馬場 等 議員

## 問 放課後児童クラブの開設を学校に

答 現在のところ考えていない



ノーム児童クラブ（こどもみらいセンター）

**問** 学校は放課後も児童が校外に移動せずに安全に過ごせる場所です。学校教育に支障がない範囲において、余裕教室や特別

教室を使って放課後児童クラブは行えないでしょうか。  
**答 町長** 現在、柳田ささゆり児童クラブでは柳田小学校内の専用室において行っている。その他の放課後児童クラブにおいては、今後そのような余裕教室等ができる場合、また利用者からの要望や利用児童数の状況により協議、検討を行っていききたい。

## 問 放課後児童クラブ職員数と待遇は

答 石川県の運営基準に基づいている

**問** 申し込みをしても入れないとの声がある。職員が足りないことにより、受け入れ体制ができていないとの現場の声を聞いた。放課後児童クラブ職員の数と勤務内容に見合った待遇改善はできないか。

**答 町長** 業務の量や内容から1日4時間勤務の職員を多く必要としている。今後、業務内容にふさわしい職員配置をしていかなければならないと考えているが、現在、能登町内の各放課後児童クラブにおいては、石川県放課後児童運営基準に基づいた必要な人員体制を確保している。

## 問 その他質問

**問** 放課後児童クラブと学校の情報共有は

学校は文部科学省、放課後児童クラブは厚生労働省と管轄は違うが、その中心にいるのは同じ子供たちです。能登町において、学校教員と放課後児童職員は、児童に対してのお互いの情報の共有は進んでいるか。

**答 町長** 年度当初に情報交換をしている

年度当初に学校から学校長や担任が放課後児童クラブを訪問し、情報交換を行っている。またその都度、スケジュールを中心とした情報提供や必要に応じて児童の体調面や心の状態などの情報についても共有している。

能登町放課後児童クラブ一覧

クラブ名	開設場所	経営主体	児童数	職員数
ノーム児童クラブ	こどもみらいセンター	能登町	26	4
くぬぎ児童クラブ	鶴川公民館	能登町	8	2
ささゆり学童クラブ	柳田小学校	社会福祉協議会へ委託	18	7
松波こども園つくし組	松波こども園	松波こども園へ委託	10	2

H31.3.1現在



田端 雄市 議員



高齢者肺炎球菌ワクチン接種

## 問 肺炎ワクチン接種率向上の策を

答 任意接種費用の助成を実施

問

高齢者肺炎球菌ワクチン接種の経過措置を、国は5年間延長するとして、国の延長施策に対し、国民の健康寿命の延伸や医療費の削減のための、接種率向上につながる新たな取り組みを示せ。

答 町長

平成29年度の当町の接種率が33・9%で、県内では下から2番目であった。接種率の良い市町の周知方法や内容を勉強したい。また、町としては、任意予防接種費用の助成を実施したいと考えている。

## 問 国の風しん対策に対する本町の取り組みを示せ

答 個別案内で、抗体検査を勧奨

問

首都圏を中心に風しん患者が急増し、2017年の約31倍にまで拡大。妊婦が感染すると、赤ちゃんが難聴や心臓病、白内障などになって生まれる恐れがある。これに対し、国は4月から3年間、無料で抗体検査とワクチン接種を実施する。本町の実効性のある取り組みを示せ。

答 町長

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を定期接種の対象とし、5月初旬から、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの方に個別にクーポン券を送付し、抗体検査の勧奨をする。検査の結果により、風しんの定期接種を行う。

## 問 その他質問

プレミアム付商品券の発行は？

本年10月に消費税が引き上げられる。その影響をできるだけ軽減にするため、様々な施策が組み立てられている。その一つがプレミアム付商品券の発行である。

本町では、当初予算で計上されていないが、実施するのか、否か。

答 町長

商品券発行を実施する。当町もこの事業に取り組む。予算化は、6月補正を予定している。内容は、2万円、2万5000円の商品券を受け取れるもの。この制度の対象者は、0〜2歳児の子育て世帯と平成31年度の住民税非課税者である。商品券を購入するには、購入引換券が必要であり、子育て世帯へは、直接郵送するが、低所得者は、申請し審査が必要となる。なお、商品券の使用期間は、10月1日から翌年3月31日までの予定。



酒元 法子 議員

**問 愛がん動物について**

**答 捕獲機貸出及び去勢手術費助成は実施していない**

**問**

日常生活の中で癒され、生活への潤い、情緒まで育むのが犬や猫、小鳥や金魚などのペットであることは広く知られている。しかし、無責任な飼い主等で捨てられるペットも多くいるが、反対に無責任に餌を与え野良猫などで生活環境に悪影響を及ぼしている場合もある。特に野良猫については、能登北部保健センターや石川県薬事衛生課から野良猫に無責任に餌を与えない、と注意喚起してい

る現状である。

現在、少子高齢化、独居化等が問題となっており、生活環境に愛がん動物を活用した社会の構築を図ってはいかがか。

**答 町長**

町では狂犬病予防対策の観点から犬用捕獲機1台を所有しているが、野良猫捕獲のための貸出は実施していない。去勢手術費助成については、石川県内で2市町が実施しているが、現在、能登町では実施していないのでご理解願いたい。

**問 児童虐待防止・いじめについて**

**答 専門機関等と連携しながら防止対策を推進する**

**問**

当町では案件がないということで安心してはいるが、町としての児童虐待防止対策の方針について確認したい。

**答 教育長**

先に行った緊急点検では結果として報告はなかったが過去に保護や支援が必要な案件については継続して見守っている。町教育委員会としては、各学校で児童虐待の有無だけではなく、日頃から児童生徒の表情や行動の観察、個人面談やアンケート調査等を実施し、いじめや不登校の未然防止、早期発見に努め、疑われる事例については校長の判断で児童相談所に即時通告するよう指導している。

また電話相談『能登町なんでも相談カナリア』の週2回開催など相談を受ける体制を整え専門機関と連携して防止対策の取り組みを推進する。

**答 町長**

町では、健康福祉課が主管する要保護児童対策地域協議会の定期的な開催を通じ、見守りが必要な家庭や児童生徒の進捗状況や支援方策等の情報提供、情報共有を行い、児童相談所・教育委員会等専門機関と連携しながら未然防止に努めている。また、民生委員・児童委員を中心に地域見守り活動や心配事相談、子育てに関する悩みや心配事や傾聴し、緩和解消のため乳幼児健診時やMama・cafeで同年代の子供を持つ保護者同士の集まりや話題の共有する機会場の提供し、子育てに関する悩みを抱き込まないような働きかけをしている。



虐待かもと思ったら189番へ

**問その他質問**

特殊詐欺被害防止のための録音機の貸出は

石川県警の集計で、平成29年12月末で105件約1億7700万円、平成30年12月末で61件約1億6800万円が県内の被害件数及び被害額です。

平成25年度以降に被害防止に功績のあった店舗や個人を表彰しているが、能登町からも金融機関本店や支店、コンビニ等が表彰されている。被害防止のために警察では音声録音機の貸出を行っているが町としても独居老人宅などに貸出を行えないか。

**答 総務課長**

珠洲警察署に申し込み町が実施している防止対策としては、珠洲警察署から情報提供があった場合、その都度、有線テレビでのテロップや告知放送による注意喚起を実施している。

**答 町長**

石川県警では通話録音警告機を無料で貸し出ししている、希望される方はぜひ珠洲警察署に申し込みを行っていただきたい。

## 問 消防団の未来について

### 答 「消防団応援の店」の登録制度を行う予定

問

県内の市、町の入団率は、平成30年4月1日現在の調査によりますと、能登町の条例定数充足率は、県平均を下回る89.7%となっており、役場職員の消防団員は、15名で、団員の5.3%を占めておりますが、宝達志水町は32名で21.4%、また、隣の珠洲市では48名で19.7%となっております。

答 町長

消防ポンプ車を運転できるように、準中型免許やオートマチック限定解除免許取得の補助をする能登町消防団員自動車運転免許取得費補助制度を導入して消防団員の免許取得の負担軽減を図っている。また、団員が冬期間でも活動しやすいよう防寒ジャンパーを支給した。

問

能登町消防団の未来に備え、「家族」や「事業主」の方々への応援として、年に一度、家族応援慰労手当を支給して頂く事であり、その手当は、能登町商工会の商品券とする。その他、出初式やあばれ祭りに庁舎に招待し、両親、子供さん方に慰労願うことを考えてはどうか。

忙しい勤務時間中であつても、有事には、早く現場へ出させてくれる消防団員の雇用事業主の支援として、「入札指名」回数や「随意契約選定」回数について受注機会を増やす等、消防団従業員の雇用継続に配慮願いたい。

町長の考えを伺いたい。

答 町長

平成31年度より消防団活動を地域全体でサポートするため、町内事業所や販売店などの店舗の皆様に消防団員やその家族に各種サービスや割引等の提供を行っていただくようにする「消防団応援の店」登録制度を行う予定で、ご家族の皆様にとっても買物物をしやすい環境を整えたいと思っている。

問

植物公園の指定管理者について聞く。

5千数百万円の予算がついているが、町外の業者が運営して現場で働く人達は、能登町在住の方達である。

先の質問でも、のと九十九湾観光交流センターも地域愛を持った有志の方で創った会社が運営することであるとの事、能

答 町長

能登町在住で意欲のある人達が地域の事を思い運営し、行政と民間が、手を取り合せて運営して行くことが、望ましい事と思う。そこで、来年度柳田植物公園の指定管理の最終年度となるが、前回は、随意契約となっていた。公募する予定はあるのか。町長の前向きな答弁を期待したい。

## 問 公の施設の指定管理の公募について

### 答 地元を含め広く公募する

今回の指定管理者を公募する予定はあるのかとのご質問ではありますが、来年度が指定期間の最終年度となります。次の指定管理者の選定につきましては、今期2年間の管理実績等を総合的に検証し、公募も含め適正な指定管理者の候補者選定に努めてまいります。また、公募する場合は指定管理者募集要項及び業務仕様書により地元も含めまして広く募集いたします。

（その他の質問者

向峠 茂人）



堂前 利昭 議員



地域の安全を守る消防団

1月から3月の主な議会活動

- 1月5日 町消防団出初式
  - 1月9日 交通安全祈願祭
  - 1月13日 町成人式
  - 1月18日 総務産業建設常任委員会
  - 1月21日 広報編集特別委員会
  - 1月29日 石川県町村議会議長会臨時総会  
(県社会福祉会館)
  - 2月15日 議会運営委員会・全員協議会  
第1回能登町議会2月会議
  - 2月27日 議会運営委員会
  - 3月1日 全員協議会
  - 3月4日 全員協議会
  - 3月6日 第2回能登町議会3月定例会議(議案上程)
  - 3月7日 各常任委員会
  - 3月12日 第2回能登町議会3月定例会議(一般質問)
  - 3月15日 第2回能登町議会3月定例会議(採決)
  - 3月26日 石川県町村議会議長会議長協議会(地場産業センター)  
石川県市町議会議員公務災害補償等組合議会定例会  
(地場産業センター)
- 各学校卒業式



成人式

平成30年度出欠状況表

○…出席 欠…冠婚葬祭 通院 私事都合等により欠席 一…対象外 オ…オブザーバーとして議長が出席

月 日	会議名	議員名													
		吉田 義法	堂前 利昭	馬場 等	田端 雄市	金七 祐太郎	國盛 孝昭	市濱 等	小路 政敏	酒元 法子	河田 信彰	向峠 茂人	志幸 松栄	宮田 勝三	鍛冶谷 眞一
31/01/08	広報編集特別委員会	○	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	
31/01/09	議会運営委員会	-	-	-	○	○	○	-	○	-	オ	○	-	○	
31/01/18	総務産業建設常任委員会	○	-	-	-	-	○	-	○	○	-	○	○	-	
31/01/21	広報編集特別委員会	○	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	
31/02/15	議会運営委員会	-	-	-	○	○	○	-	○	-	オ	○	-	○	
31/02/15	全員協議会	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
31/02/15	2月会議	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
31/02/27	議会運営委員会	-	-	-	○	○	○	-	○	-	オ	○	-	○	
31/03/01	全員協議会	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
31/03/04	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
31/03/06	3月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
31/03/07	各常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
31/03/12	3月定例会議	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	
31/03/15	3月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

# 総務産業 建設委員会

國盛孝昭 (委員長)  
吉田義法 (副委員長)  
小路政敏 酒元法子  
河田信彰 志幸松栄  
宮田勝三

3月7日に委員会を開催し、付託された議案21件を審査、全会一致で可決すべきものと決定した。審査過程での主な質疑応答は次のとおり。

**問** ふるさと振興基金について説明願う。  
**答** 今年度のふるさと納税の寄付金額については、約2億円を見込んでいます。  
**問** 電気自動車の充電装置の利用率について説明願う。  
**答** 町内では急速充電機が4台、普通充電機が4台の計8台がある。急速充電機の利用頻度は植物公園で約500回、

コンセールで約700回、やなぎだ荘、縄文館で各100回以下です。普通充電機は、春蘭の里、植物公園、なごみラブリオ路にあり利用頻度は各100回以下である。町全体の利用は急速と普通をあわせて1500回くらいです。  
**問** 総務費が全体の3割になったが増額要因は、また農林水産費の大幅な減額要因は。  
**答** 総務費の増額の要因については、有線放送整備費9億9800万円に、庁舎の建設費と各総合支所の建設費が総務費に含まれるため大きく増額しています。  
**問** 農林水産費の減額要因については、各集落排水事業の繰出金を会計の統合により8款土木費での集約で約2億6000万円の減額、県営ほ場整

備事業負担金で約2億円、農村総合整備事業の完了で約5000万円の減額です。

**問** 鳥獣被害対策にかかる町内の狩猟許取得者の状況と支援関係は。  
**答** わな免許142名、猟銃免許25名、網免許4名の計171名です。  
**問** 新規取得者に2万円、更新者に1万円を助成している。  
**答** 集会所整備事業について、今後の整備計画をもっているのか、また要望があれば利用率等関係なしに整備していくのか。  
**答** 整備基準については持っている。土地及び備品、建設後の維持管理については町内、区会で負担いただく条件としている。要望がありましたら必要性を検討し基本的に各年度1棟を整備する基本方針です。また要望に応じて老朽化と必要性を検討し、基本的に1町内で上限を50坪として整備する方針です。坪数制限は新規・建て替えを問いま

# 教育厚生 委員会

田端雄市 (委員長)  
馬場 等 (副委員長)  
堂前利昭 金七祐太郎  
市濱 等 向峠茂人  
鍛冶合員一

せん。エアコンについては、平成31年度から要望があれば事業採択する予定です。現在4地区分を予算化しており、新年度に各町会長、区長に整備

3月7日に委員会を開催し、付託された議案25件を審査、全会一致で可決すべきものと決定した。審査過程での主な質疑応答は次のとおり。

**問** ファミリーサポート事業の内容は。  
**答** 子供の面倒を見てほしい家庭と、面倒を見ることのできる方が、まず町に会員登録してもらう。その方が体の具合が悪かったりとか、用事で出かけたりの場合、保育

希望の有無を確認し、事業について検討したい。額は。

**問** 国民健康保険の被保険者は何人か。  
**答** 4500人を割っており、1月現在で4378人です。また後期高齢者医療保険の被保険者は4560人で、国保と後期高齢の被保険者数は逆転した。  
**問** 老朽管更新工事は1億ぐらい年間かかると思いますが、老朽管の総延長は。  
**答** 老朽管更新の工事費は、キロ4千万円ほどかかります。1年間で5キロの老朽管更新を予定しております。年間2億円ほどかかることになりました。またその間に老朽管も増えてきますし、増減を繰り返す形になると思います。

所に送り迎えに行くことができないときに代わりに行ったたり面倒を見たり預かったりする事業です。お互いにこの人で行い進めかマッチングを行い進めている。1時間あたり700円の費用を支払っている。  
**問** 災害廃棄物処理計画策定業務について具体的に教えてほしい。  
**答** 大きな災害が起こった時に、災害に伴って発生するゴミの処理方法や仮置き場についての基本的な計画の策定業務です。テレビなどで、計画がないためゴミが道路や家の中にあり復旧が遅れているとよく言われていますので、計画を作っておきたいと思っています。

人間ドックの補助金の



# 議案をチェック

## 3月定例会議の議案質疑

平成31年3月定例会議の議案質疑では、7名の議員が質疑をしました。主な質疑、答弁は次のとおり。

問 宮田勝三 議員

のとキリシマツツジの英国輸出について

のとキリシマツツジが英国の王室等に寄贈されることのだが、訪英の時期やどなたが、何人で行かれるのか。

またこの事業について

の町長の思いを聞く。

答 農林水産課長

訪英は6月下旬から7月上旬を予定。メンバーは持木町長や「のとキリシマツツジの郷」の団体の代表者など5〜6名を考えている。

問 町長

輸出するとなると検疫の問題などハードルも高いと思うが、能登町にとって大きな宝物になると思う。PRにもなるし、ビジネスの可能性にも期

待したい。



問 市濱 等 議員

天皇陛下御在位30年記念植樹について

メモリアルイベントであるこの記念植樹につい

て、場所、樹種など詳しく説明せよ。

答 農林水産課長

林野庁の事業で、全国で記念造林や記念植樹を行い国家の慶事として祝うという取り組み。記念植樹は御在位の4月30日までに実施する必要があるので、できるだけ速やかに場所や樹種を決めた

問 鍛冶合員一 議員

1億3310万の橋の新設工事について

昨年9月の定例会議で質問した時は7000万から8000万円程度の橋を考えていると答えられていた橋が、1億3300万を超え、設計費と合わせると1億4500万もの金額になる。この増額の理由を説明せよ。

また、この橋に至る町道の拡幅、改修もこの先あるのか。

答 総務課長

9月定例会議の総務産業建設常任委員会での審議で、車道だけではなく歩道もあった方が良いとの意見があり、幅員6メートルから分離歩道のある9メートルの橋に増額変更しこの工事金額になった。また町道の拡幅についても歩行者の安全を確保するように対応したいと考えている。

問 田端雄市 議員

配食サービス事業について

配食サービスは昨年度当初予算により金額、食数ともに増えたが、このサービスについて事業の趣旨、対象者、そして課

題等があれば説明せよ。

☐ 健康福祉課長  
事業内容は定期的に訪

問し、栄養のとれた食事を提供、併せて利用者の安否確認もする。

対象者は65歳以上の単身世帯または高齢者のみの所帯であり、日常生活に援助が必要な方。選定基準は包括支援センター職員や医療機関、また介護専門員などがチェック

表で決定。現在の実利用人数は200人弱で4万食。課題は福祉の分野での提供体制は限界にきているので提供体制について検討を進めたい。

☐ 向峠茂人 議員

農山漁村振興交付金について

農家民宿の振興を目的に補助金交付だと思われる

るが、内容について説明せよ。

☐ 農林水産課長

春蘭の里は国の交付金事業に採択されており平成30年度からの2カ年事業。国はハード事業で2分の1を交付する。これに町も上限200万円として4分の1を補助する。

☐ 向峠茂人 議員

能登杜氏の里プロジェクト事業について

事業の具体的な内容について説明せよ。

☐ ふるさと振興課長兼地域戦略推進室長

能登杜氏組合長を委員長とするが『聖地巡盃プロジェクト実行委員会』が中心となって能登の祭り、食文化を組み合わせた『聖地巡盃ツアー』や『のと寒ぶりツアー』を

実行。交流人口の拡大やふるさと再発見に寄与する事業に補助する予算。

☐ 馬場 等 議員

コンビニ収納について  
平成31年4月から始まるコンビニ収納について納付方法等について説明せよ。

☐ 税務課長

全国のほとんどのコンビニや北陸3県の郵便局でも納付が可能になるので利便性が上がると期待。町県民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、上下水道料が納付できる。支払い手数料はかからない。



集会所の空調設備の設置等について説明せよ。

☐ 監理課長

現在、設置補助金交付要綱を策定中。補助対象経費の2分の1の補助を想定。施工は町内の事業所に限定。設置後の維持管理は地元で負担いただくと考えている。

☐ 酒元法子 議員

青少年育成センターの電話相談について

この事業の実施について説明せよ。

☐ 教育委員会事務局長

2名の方に毎週火曜日と木曜日、午前10時から午後2時にかけて相談を受ける。電話番号は町のホームページやキャンペーンカードで確認ください。

☐ 酒元法子 議員

集会所の空調機設置補助について



インタビュー

今回のまちかどインタビューは、「ふくべ鍛冶」4代目の干場健太郎さんです。

(インタビュー)

河田 信彰



『ふくべ鍛冶』干場健太郎ファミリー

◆**役場を退職して鍛冶屋を継ごうと思ったきっかけは何ですか。**

母親が病死したことが一番大きなきっかけではありますが、小さい頃から父親の背中を見ていて、いつかは自分も鍛冶職人になりたいという思いはありました。役場には自分の代わりは沢山いるけれど、「ふくべ鍛冶」の跡取りは自分しかいないと思います。

◆**苦勞した事はありますか。**

やっぱり技術面です。父親から一人前になるには10年から15年かかると言われてます。道具には一つ一つ形や大きさが異なっているだけではなく、作業も火づくりから仕上げまでいくつもの工程があり、早く覚えたいと寝る間も惜しんで努力する日もあります。

◆**嬉しかった事はありますか。**

お客さんの喜んでくれた笑顔が一番嬉しいです。以前、家の奥に眠っていた錆びれた道具を修理した時、新しく蘇ったその姿に、お客さんが泣いて喜んでくれました。

また、県外のお客さんからもお礼の手紙を頂き、仕事の励みになっています。

◆**今後の新しい展望はありますか。**

お店も新しくなり、家族も増えました。長年使っていた自前の地

元の方の要望に答えられるよう技術を磨き、地域に愛される鍛冶職人になりたいです。

また、3年前から始めたワゴン車による移動販売が好評で、交通手段が無い方や時間が無くて店に来られない方など、こちらからお客さんの近くに出向き、修理や販売を行っています。今後は、能登町内だけでなく、近隣の市町も周ってみたいと思います。

◆**家族に対する思いは。**

父親には、一人前になるまで、もう少し技術の指導をお願いし、いつかは父親のようになりたいと思っています。

妻には、家事や子育てに加えて、鍛冶屋の商品販売や発送作業など、苦勞ばかりかけています。いつも支えてくれてありがとう。これからも子供の成長と一緒に楽しんで、いつかは子供達が自分の跡を継いでくれるように頑張ります。

次の定例会議は6月6日開会です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。ぜひ傍聴にお越しください。ご意見などありましたら、議会事務局へご連絡ください。

編集後記

5月1日から元号が『令和』となり、新たな時代が幕を開けます。祝賀ムードに包まれるなか、能登町にはどんな未来が待っているのだろうか。消費税増税前の駆け込み需要による消費の拡大、ICTの普及、さらには人工知能やロボット技術の進歩によるAI時代により経済を後押しし、バブル景気到来に期待する一方で、人と人の繋がりを大切にしていきたいものです。

委員 河田 信彰

広報編集

特別委員会

- 委員長 酒元 法子
- 副委員長 堂前 利昭
- 委員 吉田 義法
- 馬場 等
- 河田 信彰
- 鍛冶谷 眞一